

五葉山・昭和の記憶 写真展 企画書

趣 旨

県立自然公園・五葉山は、昭和41年度(1966年)に制定され、多くの自然愛好者に親しまれてきました。日本三百名山にも選定され

一方、当時「北限のホンシュウジカ」として保護されてきた鹿は、生息域を拡大し、今や岩手県全域に生息し、農林業被害の増加とともに、早池峰山では高山植生に対する被害も懸念され、さらに世界遺産・白神山地周辺まで侵出しています。

また、山麓の牧野では、2017年8月から大規模太陽光発電所が可動石し、景観は大きく変貌しています。また、大窪山地区でも新たな太陽光発電所が建設されようとしており、県立自然公園としての存在に大きく影響することが危惧されます。

私たちの目には、現在の姿こそ印象的に写りますが、過去はどのような環境や景観を持ち、人間はどのように関わってきたのか、系統的に記録されているものはありません。

温故知新の格言が示すように、古き記録や記憶を形あるものとして残し、未来に向けての礎として私たちの記憶と心情にとどめ、五葉山の価値をしっかりと子孫に贈るために、写真を中心とした資料収集と展示を通して、市民への情報発信をしたいと考えます。

五葉山自然倶楽部としての目的

五葉山の自然環境と文化の歴史を包括的に理解し、これからの関わり方を探る
(時代による自然への関わり方や取り巻く産業、登山の有り様の変化を視覚的に理解する)

内 容

昭和初期から末期までの、五葉山に関わる写真を集め、データとして保存し、展示する
(自然景観・動植物・山中山域の構造物・農林業の歴史・狩猟・登山者の姿・民俗文化・その他)

行 程

2014年4月から、会員・一般公募により写真を提供してもらう ※ 継続事業とする

写真の大きさは問わず、提供して頂けるものは頂戴し、借用できるものはお借りする

スキャナーで読み取り、年代毎・テーマ毎に整理する

その年代を代表するような記録写真を拡大プリントし、展示会をおこなう

※ 美術展の際にコーナーを設けるとともに、イベントとして改めて別途企画する

五葉山自然倶楽部・森の文化塾の事業として継続する

その他

東海新報社との共同企画で進める 再確認必要

募集要項：裏面参照

五葉山・昭和の記憶

写真募集要項

主催 五葉山自然倶楽部 森の文化塾
共催 東海新報社

趣 旨

五葉山の自然環境と文化の歴史を総合的に理解し、自然との関わり方を考える
五葉山とその周辺の自然や、人間生活との関わり（農林業を中心に、狩猟やそのほかの産業、民俗など）を記録した写真を募集・展示し、地域の自然、歴史、産業、文化に関する理解を深める

募集する写真の内容等について

昭和年代（昭和元年から平成12年：西暦2000年まで）に撮影された写真
（自然景観、動植物、山中や山城の構造物、農林業の様子、狩猟、登山者の姿、その他）
五葉山やその周辺で撮影されたものでしたら、どんなものでも構いません
自作の写真でなくても結構です お持ちの写真を気軽に応募してください 点数に制限はありません
特に昭和初期から30年代までの写真を求めます 写真の大きさやカラー・白黒は問いません

※ ただし、以下の点を承諾していただけるものに限りです

- 写真は、現物を提供していただける方については、頂戴いたします
- お貸しいただける方については、電子機器にて読み取った後、お返しいたします
- 人物が映っているものについては、公表を承諾したものと扱います
- 紛失等の事故がないように慎重に取り扱いますが、賠償には応じかねます
- コンテストではありませんので、賞はありません

応募いただいた方には、読み取り後修正プリントした2L版の写真を御礼として差し上げます

展 示

五葉山美術展でのコーナー展示をおこなうほか、このテーマでの独自企画として実施します

募集期間

2014年（平成26年）4月1日から 常時募集中 ※ 期限なし

応募方法

下記の応募票に必要事項を記入し、事務局または、当倶楽部会員へお届け下さい
メールによる送信も受け付けます 連絡頂ければ、応募票を配信いたします

事務局 〒022-0005 大船渡市日頃市町字石橋83 中嶋 敬治（森の文化塾事務局）

TEL/FAX 0192-28-2931 携帯 090-2605-0122 E-mail: ayashin@aioros.ocn.ne.jp

ふりがな		住 所	〒	連絡先電話
氏 名				
撮影場所		撮影された時期	年 月 日	※ おおよそで結構です
写真の説明 ※ 自由にお書き下さい。				写真の提供・返却の別 ○印
				・ 提供します
				・ お返しく下さい